

2023年3月27日
SCSK株式会社

SCSK、CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」で最高評価を獲得

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長 最高執行責任者:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、気候変動などの環境関連の情報開示に取り組む国際的な非営利団体 CDP が実施する「サプライヤー・エンゲージメント評価」で、最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に初めて選定されました。



サプライヤー・エンゲージメント評価

サプライヤー・エンゲージメント評価は、CDP 気候変動質問書のガバナンス・目標・スコープ3 排出量・バリューチェーンエンゲージメントのカテゴリーからサプライヤーと関連性が強い質問において、サプライヤー・エンゲージメントの取り組みを評価するものです。2022年度は全世界で、18,600社を超える企業がCDP気候変動質問書の回答を行っており、上位8%が「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されました。

SCSK グループの環境に関する取り組み

SCSKグループでは、マテリアリティの一つとして、「地球環境への貢献」をうたっており、気候変動への対応を重要かつ優先的に取り組む経営課題として位置付けています。

温室効果ガス排出量の削減に向けて、SBTイニシアチブ^{*1}の認定を取得した、中長期的な削減目標を設定しており、具体的な目標として、自社(スコープ1+2)は2030年度までに2019年度比で47%削減、2050年までに100%削減、サプライチェーン(スコープ3)においては、2030年度までに2019年度比で28%削減を設定しています。

また、サプライチェーン(スコープ3)に関する取り組みとしては、Coreパートナー^{*2}企業各社に対して個別に温室効果ガス削減に向けた方針のご説明を行うとともに、今後の削減施策についての意見交換や温室効果ガス排出量などのデータ提供をお願いするなど、ご理解をいただきながら取り組みを進めています。

SCSK グループは、今後も幅広い業界にわたるお客様やパートナー企業と連携しながら、温室効果ガス排出量削減や環境負荷低減に取り組むことで、気候変動への適応、環境に配慮した事業活動を実践し、より良い地球環境の実現に貢献してまいります。

<https://www.scsk.jp/corp/csr/environment/index.html>

- ※1 世界の平均気温の上昇を抑えるために、企業に対して科学的な知見と整合した削減目標を設定するよう求めるイニシアチブ
- ※2 より高い品質・生産性と継続的かつ安定的な取引を実現できる中核的なパートナー企業

CDP について

CDP は、英国の慈善団体が管理する非政府組織(NGO)であり、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営しています。

<https://www.cdp.net>

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

企画本部 広報部 土岐

TEL:03-5166-1150